

資料3 令和5年度事業の進捗について

(単位：千円)

事業名	令和5年度 当初予算	事業概要
あきた芸術劇場を活用した地域のにぎわい創出事業	16,832 (諸 13,319 一 3,513)	<p>東京藝術大学藝大フィルハーモニア管弦楽団によるミルハス開館1周年記念公演を開催した。</p> <p>1. 藝大フィルハーモニア管弦楽団公演事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年9月18日 ・会場：あきた芸術劇場ミルハス ・来場者：1,358人
文化の継承・創造推進事業	42,815 (入 11,090 諸 2,009 一 29,716)	<p>文化の継承と発展、文化活動の活発な取組を継続していくため、文化団体等や若手アーティストの取組を支援するほか、文化団体が気軽に発表し、県民が鑑賞できる機会の充実を図るため、「あきた文化交流発信センター」を運営する。</p> <p>1. 文化振興事業</p> <p>文化団体の文化芸術活動を支援するとともに、顕彰や発表機会を設け創作活動の活発化を図る。</p> <p>①顕彰、発表機会の創出 秋田県芸術選奨、青少年音楽コンクール、あきたの文芸</p> <p>②活動助成事業 秋田県芸術文化協会への補助（地域文化振興支援）、国民文化祭派遣費</p> <p>③情報発信事業 情報発信サイト「ブンカDEゲンキ」の運営</p> <p>④アーツARTSあきた 次代を担うアーティスト人材の育成を図るため、アーツアーツサポートプログラムを実施した。</p> <p>(1)佐々木きらら展（絵画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年12月13日～17日 ・実施場所：アトリオン ・来場者：359人 <p>(2)高橋遙・松井陽菜代ジョイントリサイタル（音楽）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和6年2月10日 ・実施場所：あきた芸術劇場ミルハス ・来場者：200人 <p>2. あきた文化交流発信センター運営事業</p> <p>県民が日常的に文化に触れる機会を増やすため、文化団体が気軽に発表し県民が鑑賞できる場として、「あきた文化交流発信センター」（ふれあーるAKITA）を運営する。</p> <p>①概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 フォンテAKITA 6階 ・面積 700㎡ ・委託先 (一社) 秋田県芸術文化協会 スタッフ3名 ・開館時間 平日 13:00～19:00 土日祝日 10:00～19:00 月曜休み <p>②活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージイベント：民謡、伝統芸能、ジャズ、フラダンス、大正琴など ・展示：書道、華道、写真、押し花展など ・情報発信：県内の文化情報を総合的に提供

<p>文化の継承・創造推進事業 (続き)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動支援：平日の空きスペースを活用して、公開練習、会議打ち合わせ等に利用 <p>③令和5年度利用者数 16,444人（6年1月末現在）</p> <p>3. あきた文化振興ビジョン管理推進事業 令和4年度に設置した秋田県文化芸術推進協議会において、PDCAサイクルのマネジメント手法により、施策・事業、取組の達成状況を検証するほか、第3期あきた文化振興ビジョンの成果指標の達成度を把握するためのアンケートを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県文化芸術推進協議会 構成員：文化芸術の関係団体、学識経験者、経済関係者
<p>文化芸術による地域交流活性化事業</p>	<p>(諸 一)</p> <p>7,025 2,500 4,525</p>	<p>県民が文化芸術に触れ合う機会の確保や将来の本県の文化芸術を担う若手の育成を図るとともに、専門的な知見等を有するプロの演奏家等との交流を通じて、県内における文化活動や地域の活性化を図る。</p> <p>1. 音楽活性化アウトリーチ事業</p> <p>①小中高校生を対象としたアウトリーチ 県内の小中高校に、プロの楽団員を講師として派遣し、児童・生徒に質の高い音楽に触れてもらう機会を提供し、交流を通じて音楽への興味・関心の喚起を図るほか、演奏指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和5年9月11日・12日 ・会 場：大館市立西館小学校、比内中学校 湯沢高校（吹奏楽部） ・出 演 者：東京藝術大学 藝大フィルハーモニア管弦楽団 <p>②一般県民を対象としたアウトリーチ等 県民を対象に、知名度のあるサクソ奏者によるミニコンサート等を開催したほか、同演奏家により、動画配信サイト等を通じて本県観光の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和5年10月27日・28日 ・会 場：あきた芸術劇場ミルハス 由利高原鉄道、本荘高校（吹奏楽部） ・出 演 者：東京藝術大学社会連携センター非常勤講師 上野耕平（サクソ奏者） ・来 場 者：230人 <p>2. 美術活性化アウトリーチ事業</p> <p>①県内の中高生を対象に、藝大教員による藝大所蔵作品の解説を通じて、児童・生徒に質の高い美術に触れてもらう機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和5年11月13日・14日 ・会 場：にぎわい交流館AU・大仙市立中仙中学校 ・解 説 者：東京藝術大学 大学美術館教員等 <p>②県内の中高生を対象に、現代美術の実践講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和6年1月～2月（全6回） ・会 場：秋田市文化創造館ほか ・講 師：藤浩志（秋田市文化創造館館長） <p>3. 全国アマチュアオーケストラ秋田大会開催事業 全国のアマチュアオーケストラ団体に在籍する演奏家が一堂に会し、地域における音楽活動の情報交換や演奏技術の研修を行い、研修の成果を披露する演奏会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開 催 日：令和5年8月18日～20日 ・会 場：あきた芸術劇場ミルハス ・参 加 者：960人

<p>文化芸術がつなぐ交流拡大事業 (文化芸術振興費補助金)</p>	<p>47,374 (国 16,111 入 21,142 一 10,121)</p>	<p>秋田ならではの文化芸術を県内外に発信するため、国際音楽祭や伝統芸能フェスティバルなど、多彩な取組を行った。</p> <p>1. 文化による地域の元気創出事業費補助金 県内の文化芸術活動や地域の活性化等を図るため、文化団体等が行う交流人口の拡大に資する取組や、芸術性に富んだ特色ある取組等に対し助成する。</p> <p>【通常枠】 ①補助対象事業： ・広く県民に公開される音楽、演劇、文芸等の文化事業 ・若い世代を対象とする事業や後継者育成型の事業 ・文化交流のための事業 ・無形民俗文化財で後継者を育成するための研修事業 等 ②補助対象事業者：文化団体等 ③補助率：1/2（上限額40万円） ④採択件数：14件</p> <p>【交流人口拡大枠】 ①補助対象事業： ・東北規模、全国規模の文化事業で交流人口の拡大に資する事業等 ・地域の文化芸術資源を活用し、多様な文化芸術の発展や地域経済の活性化に資する事業 ②補助対象事業者：文化団体等 ③補助率：2/3（上限額300万円） ④採択件数：8件</p> <p>【活動応援枠】 ①補助対象事業： ・文化団体の活動継続に資する取組 クラウドファンディング手数料、チケット販売手数料、会員確保、集客のための広報充実強化、ウェブサイト構築専門家の技術指導、団体会計の改善等 ②補助対象事業者： ・「通常枠」において3回交付を受けた文化団体 ・「交流人口拡大枠」の4回目以降の交付を受けようとする団体等 ③補助率：2/3（上限額20万円） ④採択件数：1件</p> <p>2. 秋田の伝統芸能魅力発信事業 県内の多彩な伝統芸能を披露するイベントを開催したほか、地域の祭りに親しむ体験型ツアーを実施した。</p> <p>・実施内容： ①あきた2023伝統芸能フェスティバル 実施時期：令和5年11月11日～12日 会 場：大館市「ニプロハチ公ドーム」 出 演 者：一日市郷土芸術研究会(願人踊)、西馬音内盆踊保存会、秋田市竿燈会、山田獅子踊り保存会、毛馬内盆踊保存会、粕田酒こし舞保存会 来 場 者：14,800人 ②お祭り体験ツアー 実施時期：令和6年2月11日 内 容：大館アメッコ市、きりたんぼ鍋、曲げわっぱ作り体験 参 加 者：20人</p>
--	---	--

<p>文化芸術がつなぐ交流拡大事業 (文化芸術振興費補助金) (続き)</p>		<p>3. 秋田国際音楽祭開催事業 国内外の著名な演奏家が参加する「秋田国際音楽祭」を開催し、音楽を通じて県内外からの誘客を図る。 ・実施内容： ① ヴィットリオ・フォルテ ピアノリサイタル 開催日：令和5年7月16日 会場：あきた芸術劇場ミルハス ② 仙台フィルハーモニー管弦楽団公演 ほか 開催日：令和5年11月12日 会場：あきた芸術劇場ミルハス ・来場者：計1,645人</p>
<p>「あきたの文化」魅力再発見事業</p>	<p>(国一)</p> <p>8,200 4,100 4,100</p>	<p>県内外の若い世代の観光客を対象に、秋田の祭りや伝統行事等の由来や歴史的背景等を知り、体験してもらうことで、秋田ならではの文化の魅力を再発見する機会とするとともに、地域における担い手育成につなげるため、県内伝統行事の体験型プログラムの実践、普及啓発等を行い、コロナ収束後の交流・関係人口拡大や文化の維持・継承につなげる。 ① 県内伝統行事を題材とする体験型プログラムによるワークショップの実践 ・開催時期：令和5年6月～10月 ・開催回数：2団体 計3回 ・実施プログラム：切石ささら、白岩ささら ・参加者：計390人 ② 「あきた無形民俗文化財万博」の開催 実際の伝統行事への誘客や後継者不足解消の足掛かりとするため、事業の成果発表を兼ねた交流型のイベントを開催する。 ・開催日：令和6年3月9日 ・会場：あきた芸術劇場ミルハス</p>
<p>劇団公演を活用した交流人口拡大促進事業 (企業版ふるさと納税活用)</p>	<p>(寄諸一)</p> <p>54,722 20,000 16,000 18,722</p>	<p>全国公演を行う劇団のノウハウを活用し、秋田ならではの文化や観光情報を県内外へ発信することにより、アフターコロナにおける誘客を促進する。 1. 県外公演を活用した秋田の文化発信事業 全国公演を行う劇団わらび座を活用し、全国の公演会場等において秋田の文化の魅力を発信した。 ① 秋田の魅力紹介パンフレット作成・配布 県内各地で行われている祭り等を季節ごとにピックアップし、その祭り等の解説や魅力などを紹介する。 ・発行部数：20万部 ・内訳：日本語版3種(夏・秋・冬春) 外国語版2言語(英・中(繁体字))×3種 ② 秋田の文化の魅力発信コンテンツの活用 秋田の文化の魅力を表現した劇仕立てのコンテンツを劇団わらび座公演の来場者に披露するほか、県内各地の文化スポット等を紹介・PRする映像の外国語版を制作した。 ・内訳：外国語版2言語(英・中(繁体字))×10地域 ③ 秋田の文化の魅力発信特別公演の実施 西馬音内盆踊り等の伝統芸能の特別公演プログラムを制作し県外での主要な劇団主催公演において来場者に披露した。 ・実施状況：16会場 2. 広域集客型劇場コンテンツ造成事業 インバウンドや県外からの誘客を見据え、本県及び東北の伝統芸能や祭りをモチーフとしたノンバーバル(非言語型)によるミュージカル公演を実施した。</p>

<p>劇団公演を活用した 交流人口拡大促進事 業 (企業版ふるさと納 税活用) (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年8月4日～16日 10公演 ・会場：あきた芸術劇場ミルハス ・来場者：4,289人
--	--

※国：国庫支出金 寄：寄附金 入：繰入金 諸：諸収入 一：一般財源

事業名	令和5年度 当初予算	事業概要
県民読書環境整備事業	14,616 〔 諸 9 〕 一 14,607	<p>「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」に基づき、県民が読書に親しみやすい環境づくりや県民運動を推進する。</p> <p>1. 地域読書活動推進事業</p> <p>①「読んだッチ・リレー文庫」の配置 子どもの読書環境の整備を図るため、県民への絵本や児童書の寄贈を呼びかけ、手入れした上で保育所・放課後児童クラブ等へ配布した。 ・令和5年度実績（6年1月末現在） 寄贈53人（冊数570冊）・配布21か所（冊数595冊）</p> <p>②秋田県読書活動推進連絡協議会の開催 県と市町村が協働して県民の読書活動を推進するため、会議を開催した（5年度は大雨災害により書面会議）。</p> <p>2. 県民読書の日啓発事業</p> <p>①「第10回ふるさと秋田文学賞」募集・入賞作品集の作成 11月1日の「県民読書の日」にちなみ、多くの人に秋田への愛着を深めてもらうとともに、広く読書に親しむ気運を高めるため、「ふるさと秋田文学賞」の作品募集・選考・表彰を行った。 ・部 門：小説の部、エッセイ・紀行の部 ・題 材：秋田を舞台、あるいは秋田の自然・文化・人物・風土・物産などを題材とする。 ・選考委員：内館牧子、塩野米松、橋本五郎 ・応募数：141作品</p> <p>3. 「楽しく読書！」県民運動推進事業</p> <p>①読書活動啓発イベントの実施 多くの県民が、読書を楽しく身近なものとして捉え、本を手取る機会が増えるよう、読書と親和性のある知名度の高いタレント（古市憲寿・堀井美香）によるトークライブを行った。 ・日 時：令和5年11月5日 ・場 所：秋田キャッスルホテル ・来 場 者：355人 ※イベントに併せて「第10回ふるさと秋田文学賞」の表彰式を実施した。</p> <p>4. 若者読書活動促進事業</p> <p>①本になじみのない若者を対象とする啓発の実施 若者に訴求力のある著名人（岡部大）に読書のきっかけとなるコラムの執筆を依頼し、SNS上で拡散することで新聞や広報紙を読まない若者に対して読書活動の啓発を行った。また、図書クーポンプレゼントをリンクさせ、読書率の向上を図った。 ・クーポン配布数：400枚（一人1,000円相当） ・ 〃 応募者数：1,113人</p> <p>②若者の読書活動の推進に向けた情報発信 若者が読書を満喫するために必要な情報をSNS等のデジタル媒体により発信し、読書活動をより身近に感じるための啓発活動を行った。 ・Twitter（X）閲覧数：590,720回（6年1月末現在）</p>

※諸：諸収入 一：一般財源